



令和8年6月26日

見附市在住ファッションデザイナー 山田萌永さんが展示会を開催します

山田萌永さんは、国際ファッション専門職大学（東京都）在学中にファッションブランド「AMUNI NOU アムニヌ」を立ち上げました。ものづくりの現場を理解し、見附のニットを継承するため、見附市へのUターンを決断。2026年4月、見附市を拠点に活動をスタートしました。市でも起業創業支援事業補助金により、山田さんを応援しています。

この度、見附の職人とともに作り出す新たなコレクションの展示とあわせ、これまでの歩みを振り返る制作の様子や卒業制作作品、映像作品などをギャラリー形式で展示します。

Open the Window <窓を開けて>

AMUNI NOU 2027 Spring Summer Exhibition

- 日 時 7月27日(月)～8月2日(日) 10:00～17:00
- 場 所 国登録有形文化財 旧鈴木家住宅（西蒲原郡弥彦村弥彦 1293-2）
- 展示会概要

- ・アムニヌ 2027年春夏コレクションの展示会

新作をはじめ、山田萌永さんが大学時代に描いたデザイン画や受賞作品、制作過程の写真や卒業制作作品、映像作品など、計100点ほどをギャラリー形式で展示。

- ・なぜ卒業後すぐにブランドを始めたのか

“今日”に辿り着くまでにどのような道を歩み、何を感じ、何を考えてきたのか。

服づくりの背景にある生き方や、デザイナーの内側に広がる世界を、作品とともに辿る展示。

※同展示会は、会場となる「国登録有形文化財 旧鈴木家住宅」を運営する一般社団法人弥彦村塾の伝統を「後世」に残したいという活動と、山田萌永さんの「継承」を目指す活動に価値観が重なり、開催へとつながったもの。

【山田 萌永（やまだ もえ）さん】

2001年、新潟県見附市生まれ。2026年3月、国際ファッション専門職大学ファッションクリエイション学科首席卒業。ニットのまち見附市にUターンし、デザイナーとして活動している。

●ブランド「AMUNI NOU アムニヌ」について

「永遠に無垢のままで在るために」という思想のもと、Soft（柔らかい）・Effortless（気取らない）・Life（生命）を軸に、生と死をまたぐ身体経験から生まれた哲学をニットウェアとして表現するブランド。

【本件の問合せ先】

地域経済課 繊維係 担当：佐野 ☎（0258）62-1700（内線 221）

送信枚数 3 枚（この表紙含む）

発信者：見附市役所 企画調整課 秘書広報室 川上（内線 315）

☎（0258）62-1700 FAX（0258）63-1006



Open the Window

7.27 mon - 8.2 sun

10:00-17:00

国登録有形文化財

旧鈴木家住宅／弥彦村

窓を開けるように、新しい景色や風を迎え入れる。
日常の中にある小さな変化や出会いに目を向け
心が軽やかにひらく瞬間を表現したコレクション。
窓を軸にした編み柄と共に、
よりビジュアル化されたアイコニックな形や
明確な素材の選定で軽やかさとしなやかさを追求しました。

2027 Spring Summer Exhibition

AMUNI NOU

窓を開けて

To remain pure, forever.

2027 Spring Summer Exhibition

Open the Window

窓を開けて

7.27 mon - 8.2 sun 10:00-17:00

国登録有形文化財 旧鈴木家住宅／弥彦村
(新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦1293-2)



GoogleMap

窓を開けるように、新しい景色や風を迎え入れる。

日常の中にある小さな変化や出会いに目を向け、
心が軽やかにひらく瞬間を表現したコレクション。

窓を軸にした編み柄と共に、

よりビジュアル化されたアイコンックな形や

明確な素材の選定で軽やかさとしなやかさを追求しました。

Exhibition Overview

アムニヌ2027年春夏コレクションの受注展示会。

デザイナー山田萌永が、新作をはじめ、大学時代に描いたデザイン画や受賞作品、
制作過程の写真や卒業制作作品、映像作品など、計100点ほどがギャラリー形式で展示される。

なぜ卒業後すぐにブランドを始めたのか。

“今日”に辿り着くまでにどのような道を歩み、何を感じ、何を考えてきたのか。

服づくりの背景にある生き方や、デザイナーの内側に広がる世界を、作品とともに迎える展示です。

会場となる旧鈴木家住宅は、江戸時代末期に建てられた弥彦村の社家住宅。

明治天皇北陸御巡幸の際には岩倉具視が宿泊し、現在の建物は1912年に現在地へ移築された。

宿坊と住居を兼ね備えた歴史的建築として、2016年に主屋と土蔵が国の登録有形文化財に登録されている。

Please Note

●お客様用駐車場がないため、村営の無料駐車場のご利用をお願いします。

「おもてなし広場」横の駐車場から徒歩5分ほどです。

●靴を脱いでお入りいただきます。

●一部ご購入できない作品がございますのでご了承ください。

●ご注文頂いた商品は、2027年3月のお届けです。

Designer Profile 山田 萌永 Moe Yamada

2001年生まれ、新潟県見附市出身の24歳。2026年3月、国際ファッション専門職大学ファッションクリエイション学科、首席卒業。
ユニクロやCFCLでのインターンシップやデザイナーのアシスタントを経験した後、在学中にファッションブランドAMUNI NOU
アムニヌを立ち上げ、見附市の職人と共に毎シーズンテーマに沿ったタイムレスなアイテムを展開する。2027年1月には、フランス・
パリでファッションショーを控えている。

ファッション関係の仕事に就くことを決めたのは、20歳の時。どこにも居場所がないと感じていた10代を経て、自由に自分自身を
表現することの豊かさを学ぶ。その後、デザイナーになるという夢を叶えるために立ち上がる過酷な試練の連続の中で自身を奮い
立たせたのは、16歳の頃に経験した心臓の手術によって寿命が30年ほど伸びたことがきっかけだった。「生かされた」という感覚が
残り、「自分の感性は誰かに、何かに伝えるためのものである」と信じ制作活動に没頭した。22歳の夏にニューヨーク、カナダと1か月間
一人旅をし、そこで画家のジョージア・オキーフの抽象画に強烈な印象を受け、「本質」を抽出しながらも単純化した表現技法に
出会い、現在の自身のクリエイションに大きな影響を与えた。大学時代の制作活動を通じて、自身のアイデンティティに立ち返り
“繊維のまち”で培われてきた技術と知恵を新たな視点で「継承」する為にUターン移住を決意。クリエイティビティの原点、それは
ものづくりの現場。ものづくりに関わるすべてのの方々に対して敬意を示すこと・密なコミュニケーションを取ることで、製品が作られて
いく過程を深く理解していること。この3つが重要であると考え、日々創造と革新の為に修行の日々を送っている。

(在学中の受賞歴)

●2024 ミライフファッション人材育成アワード (国際ファッション専門職大学×イオンリテールの産学共同プロジェクト)：優秀賞受賞+商品化

●第26回 千年大賞：オフィスウェア部門／審査委員長特別賞受賞

●2025 Sustainable Fashion Design Award：ウェア部門／東京都知事賞優秀賞受賞

●2025 Next Fashion Designer of Tokyo：フリー部門／奨励賞受賞

AMUNI NOU

To remain pure, forever.

山田萌永がデザイナー兼ディレクターを務める
ファッションブランド「AMUNI NOU アムニヌ」

AMU(編む)

UNI(ユニーク&ユニバース)

NOU(新しい/フランス語)

の造語

コンセプトは「永遠に無垢のままで在るために」

完成された在り方、整った美しさではなく

本来の自然な姿を捉え

表現することをデザイン哲学とし

「不完全さを肯定する服作り」を

テーマとして掲げる

伝統と技術が結集したものづくりの場

新潟県見附市で生まれるのは

唯一無二のタイムレスなニットウェア

人が着て初めて形になるボトムスや

アシンメトリー、点描アートのような

グラデーションのグラフィックに

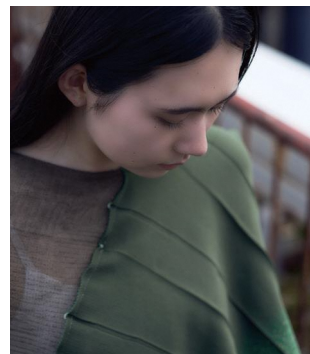
あえて穴を開けるなど

独創的なアイテムを

日常に昇華して展開している



@AMUNI_NOU



@MOE_YAMADA

